4	午　前

（10 時 00 分～12 時 00 分）

問　　題

◎　指示があるまで開かないでください。

注　意　事　項

1．午前の試験問題の数は 77 問で、解答時間は正味 2 時間 00 分です。

2．受験番号等の解答用紙への記入方法

はじめに、受験票に貼付されている受験番号シールを解答用紙左上の【シール貼付欄】に貼付してください。次に中央の欄に受験番号を、一番右の欄に氏名を HB の鉛筆又はシャープペンシルを使用して記入してください。

(例)受験番号　０Ａ－０００１の場合

貼付欄	シール	受験番号	氏名
	0A−0001	0A−0001	心理　花子

3．解答方法

⑴　各問題には①から④までの４つの選択肢又は①から⑤までの５つの選択肢があります。問題に対応した選択肢を[例１]及び[例２]では１つ、[例３]では２つを選び、解答用紙に記入してください。

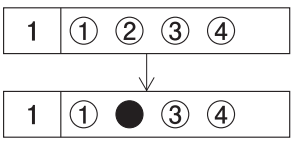
⑵　[例１]及び[例２]の問題に２つ以上解答した場合は、誤りになります。
[例３]の問題に１つ又は３つ以上解答した場合は、誤りになります。

[例１]次のうち海に面していない県について、正しいものを１つ選べ。

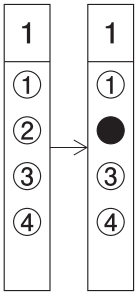
①　青森県
②　岐阜県
③　兵庫県
④　宮崎県

正解は②であるから解答用紙の②をマークすればよい。

解答用紙Ａの場合



解答用紙Ｂの場合

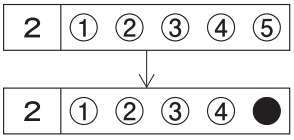


[例２]我が国における現在の元号として、正しいものを１つ選べ。

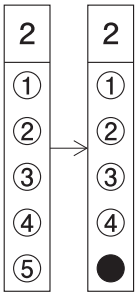
①　寛永
②　元禄
③　昭和
④　大化
⑤　令和

正解は⑤であるから解答用紙の⑤をマークすればよい。

解答用紙Ａの場合



解答用紙Ｂの場合

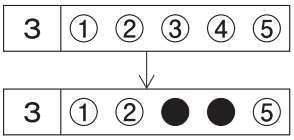


[例３]次のうち県庁所在地となっている都市名について、正しいものを２つ選べ。

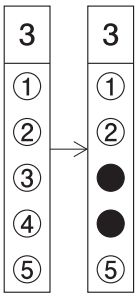
①　川崎市
②　倉敷市
③　仙台市
④　高松市
⑤　北九州市

正解は③と④であるから解答用紙の③と④にマークすればよい。

解答用紙Ａの場合



解答用紙Ｂの場合



⑶　解答は全てマークシート形式です。採点は、光学式文字読取装置によって行います。解答用紙への記入はHBの鉛筆又はシャープペンシルを使用してください。ボールペンは使用できません。また、例のように○をはみ出さないように、濃く塗りつぶしてください。

良い例 … ●

悪い例 … ◉⊘⊘⊘◍　（←読取りができないため、解答になりません。）

４．一度解答した問題を訂正する場合は、プラスチック消しゴムで消し残りのないように完全に消してください。鉛筆の跡が残っていたり、上から二重線などで消した場合は、訂正したことにはなりませんので注意してください。

５．解答は、時間内に解答用紙に記入してください。試験時間終了後に記入した場合は、無効となります。また、問題冊子に直接記入しても採点されません。

◎　指示があるまで開かないでください。

問1　公認心理師法について、正しいものを1つ選べ。

①　公認心理師登録証は、厚生労働大臣及び総務大臣が交付する。

②　公認心理師が信用失墜行為を行った場合は、登録の取消しの対象となる。

③　公認心理師登録証は、公認心理師試験に合格することで自動的に交付される。

④　公認心理師の名称使用の停止を命じられた者は、30万円以下の罰金に処される。

⑤　禁錮刑に処せられた場合、執行終了後1年を経過すれば公認心理師の登録は可能となる。

問2　身体損傷により病院に搬送された患者で自損行為の可能性が疑われる場合、緊急に確認するべき事項として、優先度の低いものを1つ選べ。

①　自らの意思で行ったかどうかを確認する。

②　致死的な手段を用いたかどうかを確認する。

③　明確な自殺の意図があったかどうかを確認する。

④　背景にストレス要因があったかどうかを確認する。

⑤　明確な致死性の予測があったかどうかを確認する。

問 3　大学の学生相談室のカウンセラーである公認心理師が、学内の保健管理センターの精神科医、障害のある学生を支援するコーディネーター、ハラスメント相談員やクライエントの所属学部の指導教員などと連携して行う支援について、最も適切なものを１つ選べ。

①　相談の秘密を守るため、できるだけ連携せずにすむ支援方法を工夫する。

②　情報の取扱方法について、情報共有する関係者の間で合意形成の必要はない。

③　支援に関わる関係者と情報共有することをクライエントに説明し、同意を得る。

④　個人情報保護の観点から、情報共有する関係者は学校に雇用された教職員である必要がある。

⑤　説明し同意が得られた後は、情報共有の在り方に関するクライエントの要望は受け付けない。

問 4　心的過程の「全体」や「場」を重んじ、集団力学誕生の契機となった心理学の考え方として、最も適切なものを１つ選べ。

①　構成心理学

②　比較心理学

③　行動主義心理学

④　新行動主義心理学

⑤　ゲシュタルト心理学

問5　観測値として、9、5、7、8、4が得られたとき、値が6.6となる代表値(小数点第2位を四捨五入)として、正しいものを1つ選べ。

①　中央値

②　幾何平均

③　算術平均

④　相乗平均

⑤　調和平均

問6　因子分析による解析を計画している調査用紙の回答形式として、最も適切なものを1つ選べ。

①　順位法

②　一対比較法

③　自由回答法

④　評定尺度法

⑤　文章完成法

問 7　P. Wall と R. Melzack のゲートコントロール理論が、元来、対象としていた感覚として、最も適切なものを 1 つ選べ。

① 温覚

② 嗅覚

③ 痛覚

④ 触圧覚

⑤ 自己受容感覚

問 8　大人の攻撃行動を観察していた幼児が、その後、同じ攻撃行動を示した。この過程を示す用語として、最も適切なものを 1 つ選べ。

① 洞察学習

② モデリング

③ 嫌悪条件づけ

④ シェイピング

⑤ オペラント条件づけ

問 9　C. R. Rogers のパーソナリティ理論の特徴として、最も適切なものを 1 つ選べ。

①　自己概念を扱う。

②　精神－性発達を扱う。

③　パーソナリティ特性を 5 因子で捉えている。

④　リビドーの向かう方向で内向型と外向型に分類している。

⑤　パーソナリティ特性を外向－内向と神経症傾向という 2 軸で捉えている。

問10　失読と失書について、最も適切なものを 1 つ選べ。

①　純粋失書では、写字が保たれる。

②　失読失書の主な責任病巣は、海馬である。

③　純粋失読の主な責任病巣は、帯状回である。

④　失読失書では、なぞり読みが意味の理解に有効である。

⑤　純粋失読では、自分が書いた文字を読むことができる。

問11　集団や社会の多くの成員が、自分自身は集団規範を受け入れていないにもかかわらず、他の成員のほとんどがその規範を受け入れていると信じている状況を指す概念として、最も適切なものを１つ選べ。

①　集団錯誤

②　集合的無知

③　集団凝集性

④　少数者の影響

⑤　内集団バイアス

問12　知覚の老化の説明として、正しいものを１つ選べ。

①　温度感覚の閾値が下がる。

②　嗅覚の識別機能が低下する。

③　高音域に先行して低音域の聴取が困難になる。

④　近方視力が低下する一方、遠方視力は保たれる。

⑤　明所から暗所への移動後における視覚の順応時間が短くなる。

問13　DSM-５の神経発達症群／神経発達障害群に分類される障害として、正しいものを１つ選べ。

①　素行症／素行障害

②　脱抑制型対人交流障害

③　神経性やせ症／神経性無食欲症

④　解離性同一症／解離性同一性障害

⑤　発達性協調運動症／発達性協調運動障害

問14　DSM-５の心的外傷およびストレス因関連障害群に分類される障害として、正しいものを１つ選べ。

①　適応障害

②　ためこみ症

③　病気不安症

④　強迫症／強迫性障害

⑤　分離不安症／分離不安障害

問15　TEACCH の説明として、最も適切なものを 1 つ選べ。

①　青年期までを支援対象とする。

②　生活や学習の環境を構造化する。

③　被虐待児を主な支援対象とする。

④　標準化された統一的な手順を適用する。

⑤　視覚的手がかりを使わずにコミュニケーションを支援する。

問16　脳損傷者に対する神経心理学的アセスメントで使用される検査の説明として、最も適切なものを 1 つ選べ。

①　HDS-R の成績が低下している場合、遂行機能障害が疑われる。

②　RBMT は、手続記憶の障害を検討するために用いられる。

③　SLTA には、非言語性の認知検査も含まれる。

④　WAIS-Ⅳの数唱の成績は、注意障害の程度を知る助けになる。

⑤　WCST は、失認症を評価する検査である。

問17　H. S. Sullivan の「関与しながらの観察」を深めていくために必要なことについて、最も適切なものを１つ選べ。

①　自分の中立的な立ち位置が揺れ動かないよう努めること

②　自分のその場での言動と関係付けてクライエントの反応を捉えること

③　自分の主観に現れてくるイメージをもとにしてクライエント理解を進めること

④　観察の精度を高める道具として、標準化された検査の導入を積極的に進めること

⑤　これまでのやりとりの流れから切り離して、今ここのクライエントの感情を理解すること

問18　心理療法における「負の相補性」の説明として、最も適切なものを１つ選べ。

①　セラピストとクライエントが、お互いに過去の誰かに関する感情を相手に向けること

②　セラピストの働きかけに対して、クライエントがその方針に無意識的に逆らおうとすること

③　セラピストが言葉で肯定的なことを言いながら態度が否定的なとき、クライエントが混乱を示すこと

④　セラピストが問題の言語化を試み続ける中で、クライエントが行動によって問題を表現しようとすること

⑤　クライエントが敵意を含んだ攻撃的な発言をしてくるのに対して、セラピストが同じ敵意を含んだ発言で応じること

問19　産後うつ病の説明として、最も適切なものを１つ選べ。

①　双極性障害との関連は少ない。

②　有病率は約 10 % から 15 % である。

③　マタニティー・ブルーズと同義である。

④　M-CHAT がスクリーニングに用いられる。

⑤　比較的軽症がほとんどで、重篤化することはない。

問20　職場復帰支援について、最も適切なものを１つ選べ。

①　産業医と主治医は、同一人物が望ましい。

②　模擬出勤や通勤訓練は、正式な職場復帰決定前に開始する。

③　傷病手当金については、職場復帰の見通しが立つまで説明しない。

④　職場復帰は、以前とは異なる部署に配置転換させることが原則である。

⑤　産業保健スタッフと主治医の連携においては、当該労働者の同意は不要である。

問21　2018 年(平成 30 年)時点において、児童養護施設における入所児童の特徴や傾向として、正しいものを 1 つ選べ。

①　入所児童は、年々増加している。

②　家族との交流がある入所児童は、半数を超える。

③　被虐待体験を有する入所児童は、半数に満たない。

④　幼児期に入所し、18 歳まで在所する児童が年々増加している。

⑤　入所児童の大学・短期大学などへの進学率は、おおむね 60 % 以上である。

問22　感覚運動学習について、最も適切なものを 1 つ選べ。

①　運動技能学習の効果は、短期的である。

②　感覚運動段階は、児童期の特徴である。

③　感覚運動学習は、感覚系と運動系による連合学習である。

④　一定の休憩を入れて運動技能を学習する方法は、分習法である。

⑤　感覚運動学習においては、課題にかかわらず全習法が効果的である。

問23　ユニバーサルデザインの考え方に基づいて、授業を実施する場合に重要な視点として、最も適切なものを１つ選べ。

①　同化

②　熟達化

③　焦点化

④　体制化

⑤　符号化

問24　保護観察所において生活環境の調整が開始される時期として、正しいものを１つ選べ。

①　家庭裁判所の審判が開始される時点

②　医療及び観察等の審判が開始される時点

③　矯正施設から身上調査書を受理した時点

④　矯正施設において、仮釈放(仮退院)の審査を始めた時点

⑤　矯正施設から仮釈放(仮退院)を許すべき旨の申出が行われた時点

問25　ホルモンの作用の説明として、正しいものを１つ選べ。

①　メラトニンは睡眠を促す。

②　インスリンは血糖値を上げる。

③　副腎皮質ホルモンは血圧を下げる。

④　プロラクチンは乳汁分泌を抑制する。

⑤　抗利尿ホルモンは血中のナトリウム濃度を上げる。

問26　くも膜下出血の説明として、最も適切なものを１つ選べ。

①　脳梗塞に比べて頻度が高い。

②　症状は 24 時間以内に消失する。

③　緩徐に進行する頭痛で発症する。

④　高次脳機能障害の原因ではない。

⑤　脳動脈瘤の破裂によって起こる。

問27　アルコール健康障害について、正しいものを１つ選べ。

①　コルサコフ症候群は、飲酒後に急性発症する。

②　アルコール幻覚症は、意識混濁を主症状とする。

③　アルコール性認知症は、脳に器質的変化はない。

④　離脱せん妄は、飲酒の中断後数日以内に起こる。

⑤　アルコール中毒において、フラッシュバックがみられる。

問28　１型糖尿病の高校生の治療における留意点として、最も適切なものを１つ選べ。

①　運動は禁止である。

②　食事療法により治癒できる。

③　２型糖尿病に将来移行するリスクが高い。

④　治療を受けていることを担任教師に伝える必要はない。

⑤　やせる目的でインスリン量を減らすことは、危険である。

問29　せん妄について、適切なものを１つ選べ。

①　小児では発症しない。

②　注意の障害を呈する。

③　早朝に症状が悪化することが多い。

④　予防には、補聴器の使用を控えた方がよい。

⑤　予防には、室内の照度を一定にし、昼夜の差をできるだけ小さくすることが有効である。

問30　特定健康診査と特定保健指導について、正しいものを１つ選べ。

①　公認心理師は、特定保健指導を行うことができる。

②　特定健康診査は、介護保険法に基づく制度である。

③　76 歳以上の者は、特定保健指導の対象とならない。

④　一定の有害な業務に従事する者は、特定保健指導を受けなければならない。

⑤　特定健康診査は、要支援状態にある 40 歳以上の者を対象として実施される。

問31　医療法で規定されている医療提供施設として、正しいものを１つ選べ。

①　保健所

②　介護老人保健施設

③　市町村保健センター

④　地域包括支援センター

⑤　産業保健総合支援センター

問32　精神障害などにより、財産管理などの重要な判断を行う能力が十分ではない人々の権利を守り、支援する制度を何というか、正しいものを１つ選べ。

①　医療観察制度

②　介護保険制度

③　成年後見制度

④　障害者扶養共済制度

⑤　生活福祉資金貸付制度

問33　労働基準法が定める時間外労働の上限規制として、正しいものを1つ選べ。

①　原則として、月60時間とする。

②　原則として、年360時間とする。

③　臨時的な特別な事情がある場合には、年960時間とする。

④　臨時的な特別な事情がある場合には、月150時間(休日労働含む)とする。

⑤　臨時的な特別な事情がある場合には、複数月平均120時間(休日労働含む)とする。

問34　心理支援におけるスーパービジョンについて、誤っているものを1つ選べ。

①　スーパーバイジーの職業的発達に適合させることが望ましい。

②　スーパービジョンの目的の1つに、特定のスキルの熟達がある。

③　後進の指導に当たる立場では、スーパービジョンの技能を学ぶことが望ましい。

④　スーパービジョンの目的の1つに、心理療法理論の臨床場面への応用と概念化がある。

⑤　スーパービジョンとは、スーパーバイジー自身の心理的問題を扱うカウンセリングのことである。

問35　医療におけるアドバンス・ケア・プランニング〈ACP〉について、誤っているものを１つ選べ。

①　話し合いの内容を文章にまとめ、診療録に記載しておく。

②　話し合いの構成員の中に、親しい友人が含まれることがある。

③　患者の意思は変化する可能性があるため、話し合いは繰り返し行われる。

④　患者の意思が確認できない場合は、担当医療従事者が本人にとって最善の方針を決定する。

⑤　患者と多職種の医療・介護従事者、家族等の信頼できる者と今後の医療・ケアについて十分な話し合いを行うプロセスである。

問36　H. P. Grice の会話の公理〈maxims of conversation〉に該当しないものを１つ選べ。

①　根拠があることを話す。

②　場の雰囲気に配慮する。

③　過不足なく情報を伝える。

④　その時の話題に関連したことを言う。

⑤　曖昧な表現を避け、分かりやすく情報を伝える。

問37　成人のクライエントに対して行う心理検査の目的として、不適切なものを１つ選べ。

①　クライエントによる自己理解や洞察を深める。

②　セラピストのセラピー継続への動機づけを高める。

③　クライエントに関わるスタッフの支援の手がかりとする。

④　セラピストがクライエントの理解を深め、支援の方針を決定する指標にする。

⑤　セラピストとクライエントの間で、コミュニケーションやセラピーを深める道具とする。

問38　M. E. P. Seligman が提唱する PERMA のそれぞれの頭文字の意味として、誤っているものを１つ選べ。

①　P はポジティブな感情を表す。

②　E は力を獲得することを表す。

③　R は他者との良い関係を表す。

④　M は生きる意味を表す。

⑤　A は達成を表す。

問39　T. L. Beauchamp と J. F. Childress が提唱した医療倫理の 4 原則に該当しないものを 1 つ選べ。

① 正義

② 説明

③ 善行

④ 無危害

⑤ 自律尊重

問40　児童の権利に関する条約〈子どもの権利条約〉に含まれないものを 1 つ選べ。

① 生命に対する固有の権利

② 残余財産の分配を受ける権利

③ 出生の時から氏名を有する権利

④ 自由に自己の意見を表明する権利

⑤ できる限りその父母を知りかつその父母によって養育される権利

問41　医師から依頼を受け、MMSE を実施・解釈し報告する際の公認心理師の行動として、不適切なものを１つ選べ。

①　被検査者の実際の回答内容を解釈に含める。

②　検査時の被検査者の緊張や意欲についても解釈に含める。

③　カットオフ値を上回った場合は、認知症ではないと所見を書く。

④　総得点だけでなく、被検査者が失点した項目についても報告する。

⑤　被検査者が難聴で口頭による実施ができない場合は、筆談による実施を試みる。

問42　適性処遇交互作用について、誤っているものを１つ選べ。

①　指導方法や学習環境のことを処遇という。

②　統計学的には交互作用効果によって検証される。

③　学びの成立に影響を与える個人差要因を適性という。

④　学習者の特徴によって教授法の効果が異なることを指す。

⑤　他者の援助と学習者の問題解決との中間領域にみられる。

問43　学校にピアサポート・プログラムを導入する目的として、不適切なものを１つ選べ。

①　思いやりのある関係を確立する機会を提供する。

②　公共性と無償性という基本を学ぶ機会を提供する。

③　学校のカウンセリング・サービスの幅を広げる機会を提供する。

④　リーダーシップ、自尊感情及び対人スキルを向上させる機会を提供する。

⑤　傾聴や問題解決スキルなど他者を援助するスキルを習得する機会を提供する。

問44　免疫担当細胞に含まれないものを１つ選べ。

①　単球

②　好中球

③　赤血球

④　B 細胞

⑤　T 細胞

問45　犯罪被害者等基本法に関する記述として、誤っているものを１つ選べ。

①　犯罪被害者等のための施策は、犯罪被害者等が被害を受けたときから３年間までの間に講ぜられる。

②　犯罪被害者等が心理的外傷から回復できるよう、適切な保健医療サービスや福祉サービスを提供する。

③　犯罪被害者等のための施策は、国、地方公共団体、その他の関係機関、民間の団体等との連携の下、実施する。

④　刑事事件の捜査や公判等の過程における犯罪被害者等の負担が軽減されるよう、専門的知識や技能を有する職員を配置する。

⑤　教育・広報活動を通じて、犯罪被害者等が置かれている状況や、犯罪被害者等の名誉や生活の平穏への配慮について国民の理解を深める。

問46　公認心理師が、クライエントに心理療法を行う場合、インフォームド・コンセントを取得する上で、最も適切なものを１つ選べ。

①　公認心理師が考える最善の方針に同意するように導く。

②　深刻なリスクについては頻度が低くても情報を開示する。

③　心理療法についての説明はクライエントにとって難解なため、最小限に留める。

④　クライエントに対して不利益にならないように、心理療法を拒否したときの負の結果については強調して伝える。

問47　公認心理師の基本的なコンピテンシーについて、最も適切なものを１つ選べ。

①　科学的な知見を参考にしつつも、直観を優先して判断する。

②　要支援者への関わり方や対応の在り方を自ら振り返って検討する。

③　普遍的な視点に立ち、文化的背景を考慮せず、要支援者を同様に扱う。

④　専門職としての知識と技術をもとに、最低限の実践ができるようになってから職業倫理を学ぶ。

問48　ストレンジ・シチュエーション法におけるアタッチメントの類型の説明として、最も適切なものを１つ選べ。

①　回避型は、養育者との分離場面で激しく泣きやすい。

②　安定型は、養育者との分離場面で泣きの表出が少ない。

③　無秩序・無方向型は、養育者との再会場面で激しく泣きやすい。

④　アンビバレント型は、養育者との再会場面でしばしば激しい怒りを表出することがある。

問49　いじめ防止対策推進法について、正しいものを１つ選べ。

①　学校は、いじめ問題対策連絡協議会を置くことができる。

②　学校は、いじめの防止に資するものとして、体験活動等の充実を図る。

③　学校は、地方公共団体が作成した、いじめ防止基本方針を自校の基本方針とする。

④　学校は、いじめ防止等の対策を推進するために、財政的な措置を講ずるよう努める。

問50　心理的支援活動の理論化について、最も適切なものを１つ選べ。

①　参加的理論構成者は、理論化を専門に行う。

②　地域援助においては、参加的理論構成者としての役割が必要になる。

③　臨床心理面接の事例論文においては、一般化に統計的手法が必須である。

④　量的データを扱う際には、研究者のリフレクシヴィティ〈reflexivity〉が重要である。

問51　個人情報保護について、誤っているものを１つ選べ。

①　本人の同意があれば、当該本人に関する個人データを第三者に提供できる。

②　クライエントが公認心理師に対する信頼に基づいて打ち明けた事柄は、個人情報に該当しない。

③　個人情報には、指紋やDNAの塩基配列など身体に固有の特徴を符号化したデータも含まれる。

④　個人情報取扱事業者は、その取扱う個人データについて、安全管理のために必要な措置を講じなければならない。

問52　雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律が示す、職場におけるセクシュアルハラスメントの防止対策について、誤っているものを１つ選べ。

①　労働者がセクシュアルハラスメントに関して事業主に相談したこと等を理由とした不利益な取扱いを禁止する。

②　紛争調整委員会は、セクシュアルハラスメントの調停において、関係当事者の同意を得れば、職場の同僚の意見を聴取できる。

③　労働者の責務の１つとして、セクシュアルハラスメント問題に対する関心と理解を深め、他の労働者に対する言動に必要な注意を払うことを定めている。

④　事業主は、他社から職場におけるセクシュアルハラスメントを防止するための雇用管理上の措置の実施に関して必要な協力を求められた場合に、応じるよう努めなければならない。

問53　要保護児童対策地域協議会について、正しいものを2つ選べ。

①　対象は、被虐待児童に限られる。

②　構成する関係機関は、市町村と児童相談所に限られる。

③　関係機関相互の連携や、責任体制の明確化が図られている。

④　要保護児童対策地域協議会における情報の共有には、保護者本人の承諾が必要である。

⑤　被虐待児童に対する情報を共有することにより、児童相談所によって迅速に支援を開始できる。

問54　マインドフルネスに基づく認知行動療法として、適切なものを2つ選べ。

①　内観療法

②　応用行動分析

③　弁証法的行動療法

④　アサーション・トレーニング

⑤　アクセプタンス＆コミットメント・セラピー〈ACT〉

問55　我が国における子どもの貧困問題について、適切なものを2つ選べ。

①　学力達成や教育機会に対する影響は小さい。

②　貧困と児童虐待の発生には、関連がみられる。

③　子どもの貧困と関連する問題は、顕在化しやすい。

④　貧困状態にある母子世帯の8割以上が、生活保護を受給している。

⑤　生活保護を受給する家庭で育った子どもは、出身世帯から独立した後も生活保護を受給する割合が高い。

問56　特別支援教育の推進について(平成19年4月、文部科学省)が示す特別支援教育コーディネーターの役割として、適切なものを2つ選べ。

①　保護者に対する学校の窓口となる。

②　特別支援教育の対象となる児童生徒を決定する。

③　特別支援教育の対象となる児童生徒に対して、直接指導を行う。

④　特別支援教育の対象となる児童生徒について、学校と関係機関との連絡や調整を担う。

⑤　外部の専門機関が作成した「個別の教育支援計画」に従い、校内の支援体制を整備する。

問57　司法場面における認知面接で、面接者が被面接者に対して求めることとして、適切なものを２つ選べ。

①　文脈の心的再現

②　視点を変えての想起

③　毎回同じ順序での想起

④　確信が持てる内容を選んで話すこと

⑤　話す内容に矛盾があればその都度説明すること

問58　治療と仕事の両立支援について、適切なものを２つ選べ。

①　仕事の繁忙などが理由となる場合には、就業上の措置や配慮は不要である。

②　労働者の個別の特性よりも、疾病の特性に応じた配慮を行う体制を整える。

③　事業場における基本方針や具体的な対応方法などは、全ての労働者に周知する。

④　労働者本人からの支援を求める申出がなされたことを端緒に取り組むことを基本とする。

⑤　労働者が通常勤務に復帰した後に同じ疾病が再発した場合には、両立支援の対象から除外する。

問59　ストレッサー、ネガティブな自動思考(以下「自動思考」という。)及び抑うつ反応の3つの変数を測定した。ストレッサーは、調査前の出来事を測定した。変数間の相関係数を算出したところ、ストレッサーと抑うつ反応の相関係数は0.30、ストレッサーと自動思考の相関係数は0.33、自動思考と抑うつ反応の相関係数は0.70で、いずれの相関係数も有意であった。パス解析を行ったところ、ストレッサーから自動思考への標準化パス係数は0.31で有意であり、自動思考から抑うつ反応への標準化パス係数は0.64で有意であり、ストレッサーから抑うつ反応への標準化パス係数は0.07で有意ではなかった。

以上の結果から解釈可能なものとして、最も適切なものを1つ選べ。

① 自動思考は、抑うつ反応に対して影響を与える説明変数ではない。

② 抑うつ反応は、ストレッサーに対して影響を与える説明変数である。

③ ストレッサーは、抑うつ反応に対して自動思考を介して影響を与えている。

④ 自動思考が根本的な原因として、ストレッサーと抑うつ反応の両方を説明している。

⑤ 抑うつ反応に対して、ストレッサーと自動思考は対等に説明する変数となっている。

問60　32歳の女性A、2歳の子どもの母親。Aは、市の子育て支援センターで、公認心理師Bに育児不安について相談した。3年前に結婚により仕事を辞め、2年半前から夫の転勤でC市に住んでいる。夫は優しいが、仕事が忙しいため、Aは一人で家事や育児を行うことが多い。知り合いや友人も少なく、育児について気軽に相談できる相手がおらず、孤独感に陥るという。BはAに対し、地域の育児サロンなどに参加し、育児や自分の気持ちについて話すなど、子育て中の母親との交流を提案した。

Bの Aへの提案のねらいとして、最も適切なものを1つ選べ。

① 感情制御

② グリーフケア

③ 情緒的サポート

④ セルフ・モニタリング

⑤ ソーシャル・スキルズ・トレーニング〈SST〉

問61　5歳の男児A、幼稚園児。Aが4歳のときに、おやつが準備されるのを待てずに手が出てしまう、1歳下の弟とのきょうだいげんかが激しいといったことを母親が心配し、教育センターの公認心理師に相談するために来所した。Aには、母子関係の問題や発達的なつまずきはみられなかったため、月に1度の相談で経過をみていたところ、5歳の誕生日を過ぎた頃から、弟とのけんかが減った。おやつもすぐに食べずに待てるようになったとのことである。

Aの状態の背景に考えられる心理的発達として、最も適切なものを1つ選べ。

① 共同注意
② 自己抑制
③ 脱中心化
④ メタ認知
⑤ アタッチメント

問62　22歳の男性A、大学4年生。公認心理師Bが所属する大学の学生相談室に来室した。Aは、6つの企業の就職面接に応募したが、全て不採用となり、就職活動を中断した。その後、就職の内定を得た友人が受講している授業に出席できなくなり、一人暮らしのアパートにひきこもり気味の生活になっている。Aは、「うまく寝付けなくなって、何事にもやる気が出ず、自分でも将来何がしたいのか分からなくなって絶望している」と訴えている。

Bの Aへの初期対応として、最も適切なものを1つ選べ。

①　就職活動を再開するよう励ます。

②　抑うつ状態のアセスメントを行う。

③　保護者に連絡して、Aへの支援を求める。

④　発達障害者のための就労支援施設を紹介する。

⑤　単位を取得するために、授業に出席することを勧める。

問63　公認心理師Aが主演者である学会発表において、実験結果の報告のためのスライドを準備している。実験の背景、目的、結果、考察などをまとめた。Aは他者の先行研究で示された実験結果の一部を参考論文から抜き出し、出所を明らかにすることなく自分のデータとして図を含めてスライドに記述した。

このまま発表する場合、該当する不正行為を1つ選べ。

① 盗用

② 改ざん

③ ねつ造

④ 多重投稿

⑤ 利益相反

問64　28歳の女性A。Aが生活する地域に大規模な地震が発生し、直後に被災地外から派遣された公認心理師Bが避難所で支援活動を行っている。地震発生から約3週間後に、AからBに、「地震の後から眠れない」と相談があった。Aの家は無事だったが、隣家は土砂に巻き込まれ、住人は行方不明になっている。Aはその様子を目撃していた。Aによれば、最近崩れる隣家の様子が繰り返し夢に出てきて眠れず、隣家の方向を向くことができずにいる。同居の家族から見ても焦燥感が強くなり、別人のようだという。

Bの Aへの対応として、最も優先されるものを1つ選べ。

① ジョギングなどの運動を勧める。

② 生き残った者の使命について話し合う。

③ リラックスするために腹式呼吸法を指導する。

④ 行方不明になった住人が必ず発見されると保証する。

⑤ 現地の保健医療スタッフに情報を伝えることへの同意を得る。

問65　70歳の女性A。長男、長男の妻及び孫と暮らしている。Aは、1年ほど前に軽度のAlzheimer型認知症と診断された。Aは、診断後も自宅近所のスポーツジムに一人で出かけていた。1か月ほど前、自宅をリフォームし、収納場所が新たに変わった。それを機に、探し物が増え、スポーツジムで使う物が見つけられなくなったため、出かけるのをやめるようになった。Aは、物の置き場所をどう工夫したらよいか分からず、困っているという。

Aに対して行うべき非薬物的介入として、最も適切なものを1つ選べ。

①　ライフヒストリーの回想に焦点を当てた介入

②　日常生活機能を補う方法の確立に焦点を当てた介入

③　有酸素運動や筋力強化など、複数の運動を組み合わせた介入

④　物事の受け取り方や考えの歪みを修正し、ストレス軽減を図る介入

⑤　音楽を聴く、歌うなどの方法によって構成されたプログラムによる介入

問66　67歳の男性A、税理士。重度認知症の母親Bと二人で暮らしている。Aは、Bの介護をしながら税理士の仕事をしている。Aは、1年前から集中力や思考力が低下して、仕事が捗らなくなった。ミスも増えたため、仕事を辞めようかと悩んでいた。物忘れ、不眠、食欲低下についてもかなり心配していた。Aは、現在の状態がBの初期症状と類似しているのではないかと心配し、医療機関を受診した。Aは、手段的日常生活動作〈IADL〉に問題はなく、HDS-Rは29点、老年期うつ検査-15-日本版〈GDS-15-J〉は13点であった。

診断として疑われるAの状態として、最も適切なものを1つ選べ。

① うつ病

② パニック症

③ 前頭側頭型認知症

④ Lewy小体型認知症

⑤ 心的外傷後ストレス障害〈PTSD〉

問67　小学３年生のある学級では、１学期の始めから学級での様々な活動に対し積極的で自主的に取り組む様子がみられた。そこで、児童のやる気をさらに高めるために、児童が行った活動に点数をつけて競わせることが試みられた。その結果、２学期になると、次第に点数のつかない活動では、児童の自主的な取組がみられなくなり、３学期になるとさらにその傾向が顕著になった。

この現象を説明するものとして、最も適切なものを１つ選べ。

① 学級風土

② 遂行目標

③ 期待価値理論

④ ピグマリオン効果

⑤ アンダーマイニング効果

問68　45歳の男性A、小学校に勤務しているスクールカウンセラー。Aが勤務する小学校では、「ともに学び、ともに育つ」という教育目標のもとで、「支え合う学級集団づくり」に取り組んでいた。Aは、5年生の担任教師からクラスの児童同士の人間関係の改善や児童相互の理解を豊かにするための授業を実施してほしいと依頼を受けた。そこで、Aは児童がより主体的・対話的で深い学びができるように、アクティブラーニングを取り入れた授業を行うことにした。

Aが行うアクティブラーニングの視点を用いた指導法として、最も適切なものを1つ選べ。

① 児童の個性に合うように、複数の方法で教える。

② 学習内容が定着するように、内容を数回に分けて行う。

③ 全員が同じ内容を理解できるように、一斉に授業を行う。

④ 全員が正しく理解できるように、原理を積極的に解説する。

⑤ 具体的に理解できるように、例話の登場人物のセリフを考えさせる。

問69　16歳の男子A、高校1年生。万引きにより逮捕され、少年鑑別所に収容された後、家庭裁判所の審判により保護観察処分となった。Aは、審判終了後すぐに母親Bと共に保護観察所に来た。Aの居住する地域を担当している保護観察官Cが、初回の面接を行うことになった。審判直後であり、家庭裁判所からは、氏名、年齢、非行名、遵守事項に関する意見など、最小限の情報が届いている。

Cの初回面接における対応方針として、最も適切なものを1つ選べ。

①　特別遵守事項を設定する。

②　担当する保護司が同席できるよう手配する。

③　保護処分の決定に対する抗告について説明する。

④　関係構築を優先し、家族関係や成育歴についての質問は控える。

⑤　家庭裁判所において既に確認されているため、事件内容についての質問は控える。

問70　製造業Ａ社は、これまで正社員の大半が男性であった。ここ数年の労働力不足を背景に、様々な人材を登用する機会を模索している。女性の管理職の増加を目指したキャリアコンサルティングの実施、外国人社員に伴って来日した配偶者の採用に加え、社内に障害者支援委員会を設置して精神障害者の就労支援を行うなど、個々の違いを認め、尊重し、それらを組織の競争優位性に活かそうとする取組を行った。その取組をきっかけとして、女性社員、高齢者や国籍の異なる社員なども少しずつ増えて、今では属性の異なった人と協働する機会が増えている。

このＡ社の取組を全体的に表すものとして、最も適切なものを１つ選べ。

①　コンプライアンス

②　キャリアマネジメント

③　ポジティブアクション

④　アファーマティブアクション

⑤　ダイバーシティマネジメント

問71　39歳の男性A、会社員。Aは、中途採用で入社して10年目になるが、これまで会社内での人付き合いは良好で、安定した仕事ぶりから上司の信頼も厚い。最近になり、Aは、キャリアに希望が持てないと企業内相談室に来室した。「今この会社を辞めたら損失が大きいので、この先も勤めようと思う」と述べる一方で、「この会社を離れるとどうなるか不安である」、「今この会社を辞めたら生活上の多くのことが混乱するだろう」と述べた。

Aの発言内容から考えられるAの組織コミットメントとして、最も適切なものを1つ選べ。

① 規範的コミットメント
② 行動的コミットメント
③ 情緒的コミットメント
④ 存続的コミットメント
⑤ 態度的コミットメント

問72　53歳の女性A。もともと軽度の弱視がある。大学卒業後、管理栄養士として働いていたが、結婚後、出産を機に退職し、その後、職には就いていない。2年前に一人娘が就職し一人暮らしを始めた頃から、抑うつ的になることが増え、身体のほてりを感じることがしばしばあり、頭痛や倦怠感がひどくなった。また、これから何をしてよいのか展望が持てなくなり、不安な状態が続いていた。しかし、最近、かつて仕事でも趣味でもあった料理を、ボランティアで20歳から30歳代の女性らに教える機会を得て、彼女らとの会話を楽しみにするようになっている。

Aのここ数年来の心身の状態として、<u>該当しないもの</u>を1つ選べ。

① 更年期障害
② 空の巣症候群
③ アイデンティティ危機
④ 生成継承性〈generativity〉
⑤ セルフ・ハンディキャッピング

問73　50歳の女性A。抑うつ気分が続いているために精神科に通院し、院内の公認心理師Bが対応することになった。7か月前にAの17歳の娘が交際相手の男性と外出中にバイクの事故で亡くなった。事故からしばらく経ち、Aは、事故直後のショックからは一時的に立ち直ったように感じていたが、3か月ほど前から次第に抑うつ状態となった。「どうしてあの日娘が外出するのを止めなかったのか」と自分を責めたり、急に涙があふれて家事が手につかなくなったりしている。

Bの Aへの対応として、<u>不適切なもの</u>を1つ選べ。

① 悲しみには個人差があるということを説明する。

② 娘の死を思い出さないようにする活動がないか、一緒に探索する。

③ Aが体験している様々な感情を確認し、表現することを援助する。

④ 子どもを亡くした親が体験する一般的な反応について、情報を提供する。

⑤ 娘が死に至った背景について、多様な観点から見直してみることを促す。

問74　35歳の女性A、公立中学校のスクールカウンセラー。近隣の中学校で、いじめが原因と疑われる生徒の自殺が起きた。Aは、教育委員会から緊急支援のために当該中学校に派遣された。Aは、緊急支援の内容を事前に校長と相談した上で、介入を行うこととなった。中学校の現在の様子は、生徒の保健室の利用が増えてきており、生徒や保護者の間では、自殺についての様々な臆測や噂も流れ始めている。

Aが行う緊急支援として、<u>不適切なもの</u>を1つ選べ。

① 動揺している生徒に対して、個別に面接を行う。

② 動揺している保護者に対して、個別に面接を行う。

③ 教師に対して、自身の心身のケアについての心理教育を行う。

④ 自殺をした生徒に対するいじめの有無について、周囲の生徒から聞き取りを行う。

⑤ 教師に対して、予想される生徒のストレス反応とその対処についての心理教育を行う。

問75　70歳の女性A。Aは、Aの夫である会社役員のBに付き添われ、開業している公認心理師Cのもとを訪れた。Bによると、Aは自宅近くのスーパーマーケットで大好きなお菓子を万引きし、店を出てから食べているところを警備員に発見されたとのこと。Aは、「万引きはそのときが最初で最後であり、理由は自分でもよく分からない」と述べるとともに、同居している半身不随のBの母親の介護を一人で行っているため自分の時間を持てないことや、Bが介護はAの仕事であると言っていることへの不満を述べた。AとBは、Cに対してAが二度と万引きしないようになるための助言を求めている。

Cの Aへの理解として、<u>不適切なもの</u>を1つ選べ。

① Aは、窃盗症の疑いが強い。

② Aは、ストレスへの対処力が弱まっている。

③ AとBの夫婦間コミュニケーションが不十分である。

④ Aにとっては、Bの母親の介護が負担になっている。

⑤ Aに器質的疾患があるかどうかを確認する必要がある。

問76　20歳の女性A、大学3年生。Aは、母親Bと精神科を受診した。Bによると、Aは、1か月前に親友が交通事故に遭うのを目撃してから、物音に敏感になり不眠がちで、ささいなことでいらいらしやすく、集中力がなくなったという。一方、初診時にAは、「事故のダメージはない。母が心配し過ぎだと思う」と声を荒げ、強い調子でBや医師の話をさえぎった。医師の依頼で、公認心理師CがAの状態把握の目的で心理検査を施行した。検査用紙を渡すと、Aはその場で即座に記入した。結果は、BDI-Ⅱは10点、IES-Rは9点であった。

CがAの心理検査報告書に記載する内容として、最も適切なものを1つ選べ。

① 心理検査の得点やBの観察、Aの様子からは、PTSDが推測される。

② 心理検査の得点からはAのPTSDの可能性は低いため、支援や治療が必要なのは過度に心配するBである。

③ 心理検査の得点からはPTSDの可能性が高いが、Aが否定しているため、結果の信ぴょう性に問題がある。

④ 心理検査の得点からはPTSDの可能性は低いが、その他の情報と齟齬があるため、再アセスメントが必要である。

(注：「PTSD」とは、「心的外傷後ストレス障害」である。)

問77　7歳の男児A、小学1年生。Aは、スクールカウンセラーBの相談室の開放時間に、よく訪れていた。最近、Aが学校に連絡なく2日間欠席したため、担任教師と一緒にBがA宅を家庭訪問した。Aは、アパートの階段下に座っていたが、最初、Bらの質問に何も答えなかった。やがて、「お父さんがお母さんを叩いている。家ではけんかばかりだし、僕も叩かれることがある」と話した。「他の人にけんかのことを話すとお父さんとお母さんに叱られる」とも訴えた。

Bや学校がとるべき初期対応として、適切なものを2つ選べ。

① Aの両親と面談をして、信頼関係の構築を図る。

② Aに両親のけんかの原因や頻度などを詳しく質問する。

③ 児童虐待の確証を得られるよう、近隣住民から情報収集をする。

④ Aから聞いた発言やその際の表情・態度をそのまま記録しておく。

⑤ 校内で協議の上、市町村の虐待対応担当課又は児童相談所に通告する。